

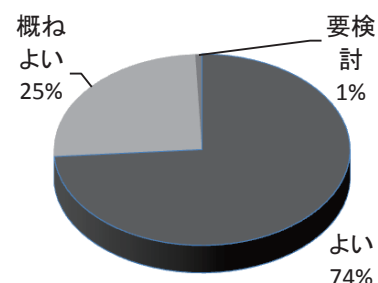
## アンケート集計結果

大会を4つの分野に分けて、それぞれ「よい・概ねよい・改善が必要」の3段階で評価していただいた。分野ごとのご意見は「○成果」と「●課題」に分けて、顕著な意見や代表的な意見をまとめた。

### 1 開催時期(6月11日,12日)について

#### (1) 評価

評価	よい	概ねよい	要検討	合計
人数	505	174	5	684



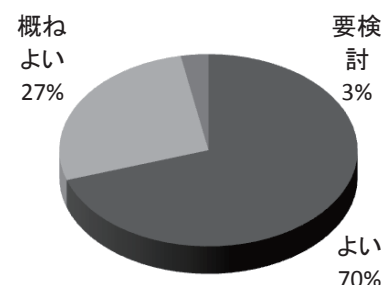
#### (2) 意見

- 妥当な時期である。
- 修学旅行等、行事が重なる時期なので夏休み明けも考えられる。
- 金曜日1日開催でもよい。

### 2 開会式・全体会(1日目)について

#### (1) 評価

評価	よい	概ねよい	要検討	合計
人数	468	181	20	669



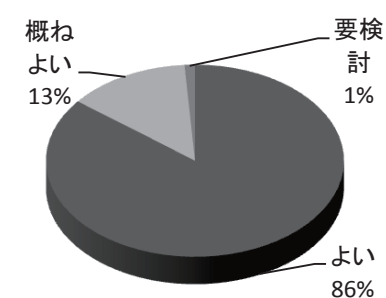
#### (2) 意見

- ゆったりとした会場が素晴らしかった。
- 開会式が形式的で堅い。簡略化できるところは抜本的に見直す。
- 椅子が固く長時間座っているのが大変であった。クッションのよい椅子にする。
- 座席をもう少しゆとりをもった配置にする。
- 大会宣言文の配付は大会終了直前が望ましい。大会が始まったばかりの確認は違和感があった。

### 3 記念講演について

#### (1) 評価

評価	よい	概ねよい	要検討	合計
人数	612	95	8	715



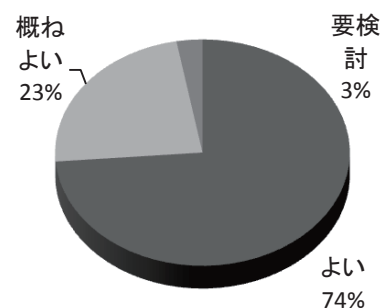
#### (2) 意見

- とてもよかった。卒業式を変えてみたいと思った。
- 内容が素晴らしく、自校の職員にも指導できる事が多かった。
- これまでにない講演で楽しくてよかった。
- 発想力の大切さを実感した。
- 視点変換が大切であり、見方を変えて子どもにとって広がり確保された教育の場を作りたい。
- とても刺激的であった。「人を引き付ける」ということはどのようなことか勉強になった。
- 人間力を感じ、今後に生かせる講演であった。
- 目先を変える、当たり前を見直す、右脳と左脳等、大変勉強になった。
- 人選がすばらしい。新潟が生んだ達人だと感激した。
- 夢のある講演であった。
- 講師の表情が豊かで参考になった。
- 既存概念を打ち破るお話の中に不易の心を教えていただいた。
- 学長のパフォーマンスで大学経営がうまくいっている。小学校長も見習うところがある。
- 音響が悪く聞き取れないところが多かった。

## 4 分科会・分散会(2日目)について

### (1) 評価

評価	よい	概ねよい	要検討	合計
人数	494	157	19	670



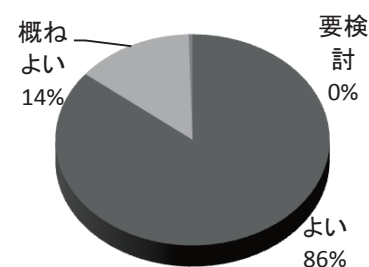
### (2) 意見

- 充実した話合いができた。
- 他県の学校の様子を聞くことができ、刺激を受けた。
- グループ協議を入れたことはよかった。
- 校長として何をしなければいけないか、校長の視点という部分を学ぶことができた。
- 発表1→発表2へと進む中で協議の視点が絞られ深まった。
- 細かいところまで配慮の行き届いた分科会であった。
- 短時間ではあったがグループ討議の形式がよく、スムーズに行われた。
- 提案レポートの内容の濃さに感動した。
- 運営面で新潟の「おもてなし」を肌で感じた。
- グループ協議の時間が足りなかった。
- グループ協議の人数8名は多い。5～6名がよい。
- グループ協議の司会、進行は事前に決めておいた方がスムーズに進行できる。
- パワーポイントの発表資料の文字が小さく見づらかった。
- 分科会の数は検討が必要。校長として深くかかわる分科会のみにする。
- 外国語活動は今後大切になってくる。分科会の中に入れてほしい。

## 5 大会運営について

### (1) 評価

評価	よい	概ねよい	要検討	合計
人数	576	93	3	672



### (2) 意見

- 大変行き届いた「おもてなし」の心に感謝である。
- 細部にわたり配慮がなされていた。
- 駅や街角等での丁寧な誘導で迷うことなく参加できた。笑顔で親切に対応してもらった。
- 笑顔と爽やかな対応に温かみが伝わり気持ちよく研修できた。
- オレンジと白のキャップがすぐ目に入り大変分かりやすかった。
- 会場やホテルのアクセスも良かった。駐車場も余裕があった。
- シャトルバスの本数を増やしてほしい。
- 資料を事前配付してもらったが、重いし費用もかかるので当日配付でよい。

## 6 その他

- 新潟県の先生方の細かな配慮により、不便さを感じることなく2日間を過ごすことができた。
- 新潟県人の誠実な人柄という県民気質に触れた思いがする。
- 地元開催の負担が大きい。簡素化できるところは簡素化する。

## < 総括 >

「おもてなし」「本丸は分散会」「校長を主語」をキーワードとした本大会を振り返ると、高い評価をいただく結果となった。1日目の東京藝術大学 学長 宮田 亮平 様の講演会にはPTAからも参加してもらった。この取組は開かれた校長会、信頼される校長会を目指す表れとなった。反面、会場の大きさに合った音響設備については課題が残った。

2日目の分科会、分散会においては校長を主語とした提案に基づき討議の柱が明確に示され、活発な意見交換がグループ内で行われた。その結果、各都県の実情、課題が出され、有意義な会となった。

一方、活発な意見交換がなされたグループ協議については、時間不足であったという課題が出てきた。時間配分については検討する必要がある。